

第16号

平成20年3月

●スペースパークボランティアの会 ●

S.P.Vつづりん

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

「茨城県自然博物館」研修記

2月17日、午前8時に郡山を出発しS.P.V一行は茨城県坂東市にある茨城県自然博物館へ向かいました。

向う道中では、途中海が見える所もあり南へ向かっているのだなと感じる場面がありました。

予定より早く到着し、茨城県自然博物館のボランティア担当職員さんが温かく出迎えてくれました。敷地は東京ドーム3個分でとても広い博物館です。

茨城県自然博物館ボランティアの代表の今村さんからボランティアについての説明がありました。茨城県自然博物館のボランティアは、開館と同時に発足し、開館前から研修をされていたとのことでした。会員は現在約100人で、茨城県と隣接する千葉県・埼玉県からの登録があります。月に最低7時間の活動で、13のチームに分かれて活動しています。当日は、来館者向けにサンデーサイエンスなどの工作教室が開催されていてボランティア

の方々は生き生きと活動していました。また、この他にも小学校の総合学習支援などがあり多くの活動をしているそうです。

説明後に、敷地内をボランティア代表の今村さんに案内していただきました。敷地の半分以上が屋外施設になっていて、菅生沼という沼がありました。そこでは、飛来していたコハクチョウを見ることができました。ま



た、茨城県自然博物館では、来年度企画展のために炭焼窯を制作中でまもなく火入れ式があるそうです。

館内にもボランティアさんがいて、案内などをされていました。あるエリアには、淡水魚が展示されていて、引率で来た職員さんが熱心にしていました。おそらく魚が好きなのでしょう。(笑)

館内見学後には、質疑応答があり意見交換をすることができました。その中で、茨城県自然博物館のボランティア登録者には若い世代・学生が少ないという課題がありました。S.P.Vでも、私のような若手が少ないのが現実です。若手が増えれば、もっとフレッシュな活動ができるのではと感じました。

今回、全体研修に参加して、施設や他館ボランティア活動を見学して学んだことを、S.P.Vの今後の活動に生かしていくらと思いました。(阿部(麻))



科学 グループ



科学ボランティア出張活動！

朝冷えのする快晴の土曜日。今日は、幼児から小学校高学年までの32名と父兄17名を対象とした「空気砲づくり」の出張講座を郡山市立緑ヶ丘地域公民館にて行いました。

空気砲の名前の由来と原理をパネルとダンボール箱を使った煙の輪を出す実験を交えて分かりやすく解説。続いてペットボトルと風船を加工して空気砲の製作開始。さあ、ここからが科学ボランティアの出番です。幼児や低学年の子には、父兄やボランティアが付きっきりで手助けをします。カッター

ナイフを上手く使えない子どもが多いのにはビックリ!思わず手助けの手が出ててしまいます。

ペットボトルに風船をかぶせる段階では、子どもたちの器用さの差がはっきり出ていました。弾の作製では、ボランティアのアドバイスもあって子どもたちの個性ある工夫が続出し、30分経過頃には、早くも出

来た子どもたちの弾飛ばしのポンポンという音が会場狭しと鳴り響きました。全員が完成したところで飛距離コンテストのスタート。6組ある各班での競技を勝ち抜いた上位各2名での準決勝、さらには決勝と会場はさらに盛り上がりを見せます。豪華景品が出るとあって、緊張の余りフライングも続出するなど、子どもたちは真剣そのもの。ここで子どもたちの弾づくりの工夫の差が出て、最長5メートルの大記録が飛び出し大歓声の祝福のうち、コンテストは終了しました。参加者全員に記念品が配られ、子どもたちも大人も我々ボランティアも大満足の講座が終りました。(水沼)



夢・ 追い人

ふれあい科学館恒例の3月のボランティアまつりと10月の鉄道フェスティバルに愛蔵の鉄道記念物を毎回出品している高橋進氏を紹介します。

高橋氏は国鉄出身の74歳、福島市に在住し、福島市教育委員会の文化財保護指導員としても活躍されています。

趣味の蒐集家として鉄道品、郵便切手、貨幣、古書から民芸品に至るまでその数は数百点に達するという。

3月のボランティアまつりには、世界の鉄道切符コレクションの中から、世界のさまざまな国が発行した多種多様な鉄道切符の一部を出品する予定です。

ともあれ、鉄道部品では昔、国鉄の駅で毎日使用した金庫、台はかり、合図灯、切符に日付を入れる印字器…など、ほとんど揃っている。愛蔵品の中では、紙幣・貨幣と郵便切手は未使用のものであり、ハイライトは昭和天皇の御即位(昭和3年)

から昭和64年に崩御されるまでの記念切手と「昭和天皇の1日御料車」の1935年型メルセデスベンツの模型である。

今でも蒐集品の手入れと整理に毎日を過ごし、元気な老後を楽しんでいる高橋さんです。(兼谷)



天ボラの 知識の泉¹⁴

● カノープス

“カノープス”…皆さんはこの星の名前を聞いたことがあるでしょうか?南極老人星とも呼ばれるこの星は、全天でシリウスに次ぐ明るさです。冬の夜、南の空ギリギリにそっと顔をのぞかせるのですが、計算上福島が見ることが出来る北限だとわれています。冬の夜長、大切な人とこの星を探してみてはいかがでしょうか?別名、長寿の星と名づけられているこの星が、きっとあなたに幸せを運んでくれるハズですよ☆(♡しーの♡)



スペースパーク発→S.P.Vコーナー

S.P.V会員からの要望が強かったボランティアコーナーが誕生しました。22階展望ロビーの貴重なスペースの一角に館側のご理解をいただき、来館者のサービスとS.P.Vをもっともっと知っていただくためにオープンしました。

来館者に対して、今までではボランティアのほうから声をかけることが多かったと思いますが、このコーナーを設けることによって来館者の皆様からも声をかけやすくなると思います。その時の対応として例えば、

- ・県内一のノッポビル上部にある「郡山市ふれあい科学館」のこと
- ・22階展望ロビーから360度視野が広がる風景のこと
- ・郡山の成り立ちや主要観光名所そしてS.P.VのPR…などなど

私たちもお客様との出会いが快く出来るように自ら努力

することが必要になります。

このコーナーは会員全員が利用する場所です。通常は案内サービスと鉄道ジオラマ会員の利用が多いと思いますが、できるだけクローズしない努力と会員が有効に活用するようにしましょう。(久野)



今号のきら星☆さん S.P.Vデビュー

知人に紹介されS.P.Vの仲間に入り半年余り、先輩方のご指導で今日に至っています。

来館される子どもたちや家族の方々と短時間でできる工作をするのですが、「風車」や「竹とんぼ」などの懐かしい物には遠い昔の記憶がよみがえり、また、初めて手にする物には驚きと発見があります。

子どもたちが出来上がった作品に目を輝かせて歓声を上げ「見て!見て!」と得意げに披露するのを見るのは嬉しいものです。今の子どもたちはテレビゲームだけでなく何かを作る事も好きなのだ

と改めて思いました。

子どもたちにとって「ふれあい科学館」で体験するひとつひとつは将来に何らかの影響を与えることでしょう。工作などのプログラムも充実していますので是非多くの方々に利用していただきたいと願っています。

私のボランティア活動はスタートしたばかりですが、お客様に喜んでいただけるよう先輩方に教えを受け、私自身も楽しみながら活動を続けていきたいと思います。(三澤)



内田博士の 魂の叫び!! ⑩ 『発表会にて』

発表会は学生がひとりひとりプレゼンテーションし、そのあと他の学生や教員が質疑応答するという“1年のヤマ”みたいな行事だ。レポートにしろ作品制作にしろ、内容と同じくらい「わかりやすく人に伝えること」も重視される。いくらよくできたレポートでも手書きで表紙もつけられなければ評価は低い。逆に、内容はふつうでもきちんとワープロで書かれ、自分なりに工夫したフォーマットでまとめられレポートメーカーに綴られていれば、結構良い点が与えられたりする。いいことを言っているのに声が聞き取れなかったり、作品のスライド写真がボケボケで見えづらかったりと、こういう様子を見て「体裁より中身が大事だ」と「まずはカタチから」との二つに意見にわかるところである。

直接ではどうしてもおしゃべりの上手な志願者に好感を持つてしまうことは否定できないがゆえに“口下手だがよい仕事ができる”という人たちが日の目を見る機会が少なくなってしまうことへの何とも言えないもどかしさ…。確かに、今やプレゼン能力は練習やパソコンの習得で簡単にアップさせられるものなのだから、もうひと頑張りすれば自分の実力をぐっと効果的にアピールできる。とは言え、今年の卒業発表では、プレゼンは小奇麗だけど、テーマがやたら私的なもの、身近なものが目立った。研究動機の部分

で多くの学生が「私はもともと〇〇に興味があり」「自分の身のまわりを見わたしてみたとき」などと平気で言う。自分が担当した学生には「自己満足に終わらないように、“これを研究することは社会にとってこういう意義がある”とか“こういう着眼点で作品を作った人はいまだいない”と大風呂敷も広げなさい」と指導してきたつもりだが、全体的には「私は音楽が好きなので」「自分の身の周りのインテリア」と言った学生があまりにも多い。

「あなたは〇〇が好きでも、世の中にはそうじゃない人もいるし」とか「あなたが〇〇に愛着があるのはわかるけど…それで?」などと言われたら、それはいたたまれないだろう。それとも、身近とか自分とかからもう一步外に出て、第三者や社会の中で見ても意味のあるものを作れ、と大志を抱く(?)私が時代遅れってことなのだろうか。

なかなかテーマを外に広げられない学生には「どうして自分が音楽が好きなのか自分で改めて考えてみたら」と自己分析を勧めたのだが、それもやや古めかし感じもする。達者なプレゼンには「これが現代だよな」と肯定的なのに、「このテーマを選んだのは、私が絵を描くこととインテリアが好きだからです」といった“ワタシ主義”には抵抗を感じてしまう。自分がなんとも中途半端な中年になってしまった…。


イベント情報

Event Information



ボランティアまつり

●3/22(土)・23(日) 10:00~17:00

毎年恒例の“スペースパークボランティアまつり”が開催されます。大活躍中のボランティアグループが今年繰り広げた様々な活動を皆さんに披露します。



- ・昔懐かし紙芝居
- ・「昔遊び」で遊んじゃおう！
- ・鉄道ジオラマショー増便
- ・Nゲージ鉄道模型の操作体験
※持込車両の操作はありません。
- ・太陽観望会
- ・いん石を見よう！
- ・天体パズルに挑戦！
- ・「コケコッコー！」と音が鳴る
コップ作り

その他実験工作など、楽しい企画がもりだくさん!!

S.P.V 活動情報(～6月)

案内サービス “昔懐かし”紙芝居

◇平日11:30~、土日祝11:30~、14:30~(約15分)
☆随時実演

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内

◇平日11:00~のみ、
土日祝11:00~、15:00~(約20分)

他に市内出張活動や駅前イベントにも出展予定

科 学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00~16:00(展示ゾーン入館者)



天 文 駅前観望会

◇3/1(土)、3/8(土)、3/15(土)、3/22(土)、3/29(土)
19:30~20:30

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

あなたの情熱が大きな夢を育てます ボランティア大募集

期間／3月1日(土)～4月30日(水)まで

今年も生涯学習ボランティアを大募集します。ボランティア活動に興味のある方、ボランティアの経験がないので…という方も、やる気と情熱さえあれば大丈夫!! 私たちと一緒に楽しみましょう。それがボランティア活動の第一歩です。お気軽にお問い合わせください。

応募方法

- ①募集チラシ・郵便はがきに必要事項を記入し郵送
- ②科学館22階展望ロビーで直接応募
- ③科学館のホームページから応募

必要事項／住所・氏名・生年月日・電話・職業・希望活動グループ・オリエンテーション受講希望日・志望動機

希望活動グループ	主な活動内容
案内サービス	展望ロビーからの風景、歴史の案内、紙芝居
鉄道ジオラマ	Nゲージ鉄道ジオラマの案内
科学	科学工作体験のお手伝い
天文	天体観望会のお手伝い

- ◆15歳以上、無償参加可能な方(昼食代・交通費なし)
- ◆鉄道ジオラマボランティアはJR関係者のみの募集です。

★詳しくは募集チラシやポスターをご覧ください。

登録前オリエンテーション日程 5/8(木)または5/11(日) ●時間14:00~16:00 ●場所:ふれあい科学館多目的研修室

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第17号 6月中旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……ふれあい科学館 TEL 024(936)0201まで

編集
あとがき
④

春風にのせて「S.P.Vつうしん」届けます。新しい事、楽しい事、みつけましょう!(早野)
ぽっかぽっかの春、冬眠から目覚め(?)新しい事にチャレンジしてみませんか?(ほっしー)
紙面作りの熱気で雪も解けたような…?気づけば“春”ですね。(しーの)

